

平成 27 年度 キャリア教育の全体計画

学校番号	61	学校名	鹿児島県立古仁屋高等学校
本校の教育目標 ① 日本国憲法及び教育基本法に基づき、学校教育の定める目標を達成するように努める。 ② 郷土の教育的な伝統や風土を生かした全人教育・生涯教育の推進に努めるとともに、生きる力を備えた生徒の育成を図る。 ③ 校訓「自主自立」、「敬愛和協」、「明朗端正」、「誠実勤勉」のもと、本校教育の充実・発展に努める。			
目指す学校像 地域に愛され、地域とともに発展する学校を目指す。 きめ細かな少人数制と個別指導で進路実現を図る。		本校の目指す生徒像 授業、部活動、ボランティア活動を3本柱に、人の心の痛みがわかり、人に手を貸せる生徒を育てる。	
本校生徒の実態 ・明朗で素直な生徒が多く問題行動は少ない。部活動やボランティア活動等への参加意欲が高い。学力の格差は大きい。 【進路状況】 平成26年度・大学・短期大学 25% ・専修・各種学校 55% ・就職 20% 【課題】 ・学習習慣の定着 ・進路学習への意識・関心の向上 ・意思決定能力の向上 ・進路実現に向けての努力			
キャリア教育の全体目標 ・各部・学年・教科・家庭との連携を密にし、基本的学習習慣の確立と基礎学力向上に努める。 ・確かな学力の定着、小論文・作文指導、面接指導などを充実させ、生徒の進路目標の実現に努める。 ・大学入試・専門学校入試・就職試験について研究し、3年間を見通した進路指導体制を整え、学年や個々に応じた指導を行い、生徒の進路意識の高揚と早期の進路目標の確立に努める。			
		教育活動を通して育成したい能力	
第1学年重点目標 (1) 古高生としての自覚を持ち、服装容儀・遅刻欠席・あいさつなどの生活面をしっかりと「自律心」を身に付ける。 (2) 部活動へ積極的に参加し、文武両道を目指す。 (3) 基礎学力の徹底を図り、自ら学びに向かう習慣を確立する。(環境づくり、課題の提出など) (4) 二者面談・三者面談を活用して自分の進路について先生方に相談し、進路目標やコース選択について具体的に考える。		人間関係形成・社会形成能力	高校生活に適応し、中学校から高校へ学習スタイルを転換、習慣化する。また、高校生として生活面(服装、授業態度等)をしっかりとする。
		自己理解・自己管理能力	将来の夢や希望を持つとともに、自分の興味・関心がどこにあり、どのような適性があるのか、またどのような人生を送りたいのかを考える。
		課題対応能力	情報を活用する姿勢を身につける。
		キャリアプランニング能力	さまざまな進路があることを知り、理解を深める。自己の適性についても考え、進路選択の参考にする。
第2学年重点目標 (1) 中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。 (2) 一人一人が自己の能力・適性を自覚するとともに、職場体験学習を通して働くことについて学ぶ。 (3) 現実的な選択に向けて具体的に進学・就職先を研究し、希望進路実現のために積極的に学習できる集団を目指す。 (4) 様々な資格・検定試験に挑戦し、主体的に学ぶ力を身につける。		人間関係形成・社会形成能力	中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。
		自己理解・自己管理能力	自己の適性・関心を考え、自己理解を深める。
		課題対応能力	進路希望実現のために進路計画を立て、目標を設定する。
		キャリアプランニング能力	職場体験を通して自己の能力・適性を自覚し、職業観を養う。
第3学年重点目標 (1) 最高学年としての自覚を持ち、学習面・生活面で下級生の模範となるような集団を目指す。 (2) 進路実現のため、朝課外・夏季課外などの課外授業や小論文・面接指導などを効果的に利用する。 (3) 自分の能力や適性を的確に把握し、主体的に進路決定ができるように、進路に関する準備を早期に行う。 (4) 二者面談・三者面談を効果的に活用して進路を決定し、十分な宅習時間を確保する。		人間関係形成・社会形成能力	進路目標を設定し目標達成のために志望校・就職先のことについての研究を始め、進路実現のために基礎学力を養成する。
		自己理解・自己管理能力	生活リズムを乱しやすいつ時期であるので、規則正しい生活を心がける。
		課題対応能力	これまでの進路研究の結果と自分の学力を踏まえて、受験校・受験企業を決定する。
		キャリアプランニング能力	進路を決定し、上級学校や職場への適応を高める。専門分野の学力や社会人としての心構えを養成する。
各教科との連携	・基礎・基本の定着を図る。 ・授業改善の取り組み(アクティブラーニング型授業への転換) ・様々な資格・検定試験に挑戦し、主体的に学習に取り組む態度を身につける。 ・生徒指導や授業態度に関するルールの一統と徹底。		
教務部との連携	・基礎学力の定着(朝課外の計画的な実施) ・学力の向上(授業時間の確保と行事の精選)		
生徒指導部との連携	・規範意識の徹底(進路を見据えた礼法指導や服装容疑指導の実施) ・部活動や生徒会活動の活性化・交通安全指導の充実		
進路指導部との連携	・進路の手引き作成と効果的な活用 ・各種模試や検定試験への積極的な取り組み ・進路説明会や進路ガイダンスの実施		
保健部との連携	・基本的生活習慣の確立 ・体調管理の徹底		
外部との連携	・家庭・地域との連携 学年・地区PTAの実施・学校ホームページ・ブログによる情報発信・地域の関わりの中で行うボランティア活動など。 ・中・高・大の連携 中学生の1日体験入学・中学校への出前授業・大学等の教員による出前講義・オープンキャンパスなど。 ・企業との連携 企業訪問・職場体験学習・古高会講座・病院での看護体験・福祉施設での体験など。		